

プロジェクト会計をキーに社内の採算 状況を確実にキャッチする



お客様概要 PROFILE

インヴェンティット株式会社は、2007年創業以来遠隔技術をコアとしたテクノロジーで、携帯端末やスマートフォン、通信機器などのデバイスを数千万規模で遠隔管理するIoT/M2Mソリューションを展開。基盤であるServiceSync等を市場化し、日本のパイオニアとして業界を牽引し続けている。

システム選択のポイント ～会計システムでプロジェクト別の個別原価を把握したい～

インヴェンティット株式会社
取締役 鈴木 敦仁様

この会社に入社した際、経理業務のやり方に課題があり、会計システムのリプレース検討を始めました。それまでは簡易な会計ソフトを利用していたのですが、十分な分析軸がなくうまく機能していなかったんです。特にプロジェクト別管理がきちんとできていませんでした。実は前職でPlaza-iの前身のシステムを使用しており、その当時から会計にプロジェクト管理コードがあったことを知っていましたから、まずは当時のサポート担当の方に連絡し製品の説明を受けました。

プロジェクト別に個別原価の把握ができることはもちろんですが、会計システムの検討を始めたあとに、消費税増税の話があがりはじめたことが決定打だったと思います。Plaza-iであれば法令改正があっても通常の保守費用でバージョンアップが可能ですから、将来の税制、OS変更に不安を抱えることがありません。またExcelとの連携も良く、社内独自の管理フォーマットの作成に利用しています。

導入から約1年後、当初はスタンドアロン（1ユーザ）でしたが、業務拡大に合わせて人員補強をした際にサーバに切り替えました。

Plaza-i 活用機能

- 債務管理：仕入連動、支払予定管理、FBデータ連携、買掛・未払金管理
- 一般会計：仕訳入力、元帳、試算表、決算書、英文レポート出力

導入後の評価

インヴェンティット株式会社

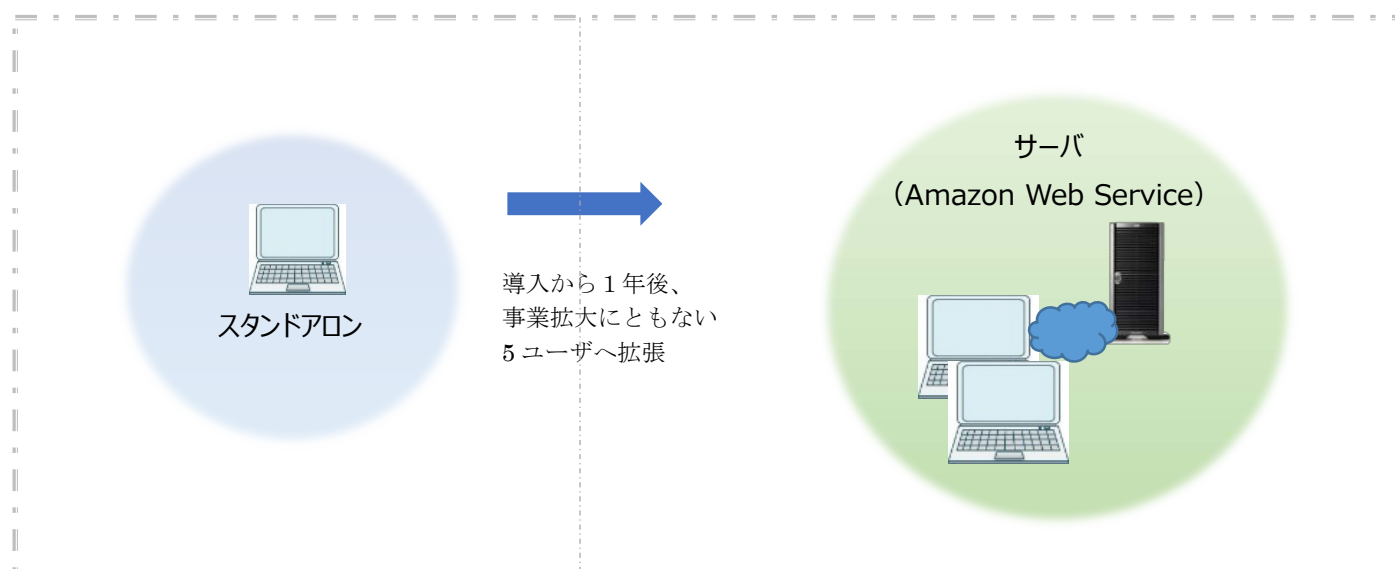
経理ご担当

日下部様 山田様

まず、年次を越えて集計できる会計システムは初めてでした。通常のソフトでは、前期の会計期間からの集計できないことが多く、集計するには各会計期間のデータを抽出し、加工しなければなりません。その点 Plaza-i はプロジェクトコードを使用して、年次を越えた欲しい期間で収益の把握ができます。最初は画面構成や使い方に戸惑いもありましたが、慣れてしまえば特に気になりません。

実務担当としては、Plaza-i にはさらに感覚的な使用感を期待したいですね。特に、仕訳の行移動の方法がマウスのドラッグでできたら嬉しいです。モジュールの追加をすることで機能拡張もできますから、会社の成長に合わせて効率化をすすめられたら理想です。

システム構成



インヴェンティット株式会社
<http://www.yourinventit.com/>

インヴェンティット株式会社
 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-4-7
 アトム麹町タワー 9階



※弊社製品 (Plaza-i) のお問い合わせは固くご遠慮くださるようお願い申し上げます。

取材日 : 2015年9月1日